

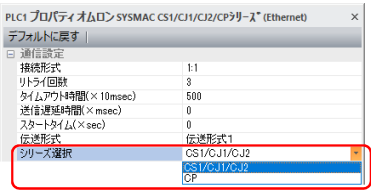
MONITOUCH

V-SFT-6バージョンアップ情報



V-SFTバージョン	6.0.39.0		
本体プログラムバージョン	V9 : 2.200	TS2060 : 2.340	V8(N) : 2.340
OSバージョン	V9 : 4.00		

バージョンアップ内容

接続	<p>1. 接続可能機種追加 : オムロン CPシリーズ 対応機種: V9/TS2060i/V8i(N) 接続機種: オムロン SYSMAC CS1/CJ1/CJ2/CPシリーズ(Ethernet) SYSMAC CS1/CJ1/CJ2/CPシリーズ(Ethernet Auto) SYSMAC CS1/CJ1/CJ2/CPシリーズ DNA(Ethernet) 仕様変更: PLCプロパティに[シリーズ選択]を追加</p> 
接続	<p>2. 接続可能機種追加 : Siemens S7-1200/1500 タグ(Ethernet ISOTCP) 対応機種: V9/TS2060i/V8i(N) 接続機種: Siemens S7-1200/1500 タグ(Ethernet ISOTCP)</p>
接続	<p>3. 接続可能機種追加 : Siemens LOGO! (Ethernet ISOTCP) 対応機種: V9/TS2060i/V8i(N) 接続機種: Siemens LOGO! (Ethernet ISOTCP)</p>
接続	<p>4. 接続可能機種追加 : FATEK AUTOMATION FACON FBsシリーズ(Ethernet) 対応機種: V9/TS2060i/V8i(N) 接続機種: FATEK AUTOMATION FACON FBsシリーズ(Ethernet)</p>
接続	<p>5. 接続可能機種追加 : Panasonic LP-RFシリーズ 対応機種: V9/TS2060 接続機種: Panasonic LP-RFシリーズ</p>
接続	<p>6. 接続可能機種追加 : Panasonic LP-RFシリーズ(Ethernet) 対応機種: V9/TS2060i 接続機種: Panasonic LP-RFシリーズ(Ethernet)</p>
接続	<p>7. 接続可能機種追加 : 日立産機システム SJシリーズ P1(MODBUS RTU) 対応機種: V9/TS2060/V8(N) 接続機種: 日立産機システム SJシリーズ P1(MODBUS RTU)</p>
接続	<p>8. 接続可能機種追加 : CIMON CP3E 対応機種: V9/TS2060/V8(N) 接続機種: CIMON CP3E</p>
接続	<p>9. 接続可能機種追加 : その他 汎用AE-LINK 対応機種: V9/TS2060/V8(N) 接続機種: その他 汎用AE-LINK</p>
接続	<p>10. プリンタ接続可能機種追加 対応機種: V9シリーズ *OSのアップデート必要 接続機種: HPプリンタ HPLIP Ver. 3.18.6までの機種 *V9 ハードVer. f以降で対応 EPSONプリンタ EP-712A</p>
エディタ	<p>11. BECKHOFF タグ ADSプロトコル(Ethernet TCP/IP) エディタ仕様拡張 対応機種: V9/TS2060i/V8i(N) 接続機種: BECKHOFF タグ ADSプロトコル(Ethernet TCP/IP)</p> <p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タグ名を選択してインポートに対応 ・局番/ADSポートNo.の一括変更に対応

12. ローカル画面仕様変更

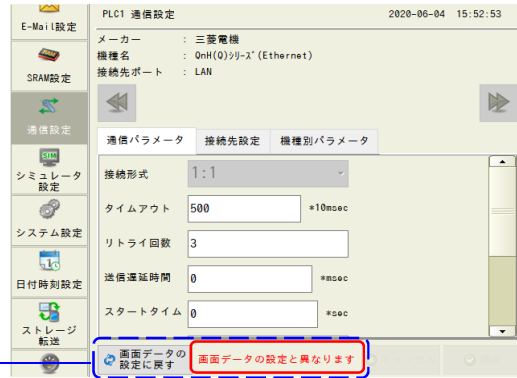
対応機種：V9シリーズ

【概要】

ローカル画面に表示される[画面データの設定に戻す]スイッチ横に、「画面データの設定と異なります」の補足メッセージを表示します。

【対象】

- ・LAN/LAN2/LANユニット設定
- ・E-Mail設定
- ・通信設定
- ・システム設定(ブザー/バックライト)



ローカル画面で設定を変更すると表示されます。

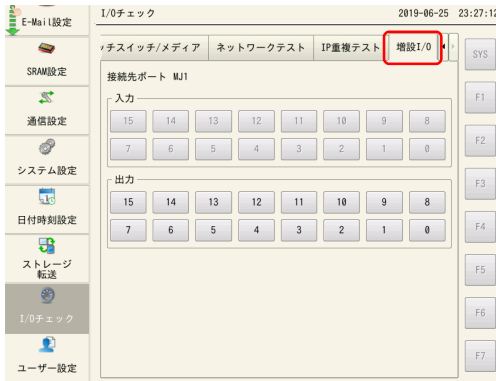
本体

13. ローカル画面 増設I/O画面対応

対応機種：V9シリーズ

【概要】

シリアル増設I/Oユニット「V-I/O」接続時、ローカル画面の[I/Oチェック]→[増設I/O]メニューで接続テストができます。



本体

14. メインメニュー画面 通信パラメータ 信号レベル表示改善

対応機種：TS2060

【概要】

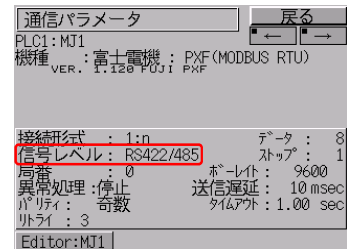
通信パラメータに表示される信号レベルの表記を「RS-422」から「RS-422/485」に改善します。

<変更前(本体プログラム：V2.320以前)>

エディタで信号レベル「RS-485」を選択していても、本体のメインメニュー画面の通信パラメータでは、信号レベル「RS-422」と表示されていた。

<変更後(本体プログラム：V2.340以降)>

エディタで信号レベル「RS-485」を選択すると、本体のメインメニュー画面の通信パラメータでは、信号レベル「RS-422/485」と表示する。



本体

15. USBカメラ 情報出力デバイス機能拡張

対応機種：V9シリーズ

【概要】

イベントレコード機能 録画状態の停止/開始状態とイベントレコード機能の使用有無を情報出力デバイスに出力します。

【必要な設定】

[システム設定]→[ハードウェア設定]→[USBカメラプロパティ]→[録画/表示設定]
情報出力デバイスを使用「する」に設定

情報出力デバイス

4ビット目(イベントレコード機能使用時のみ)

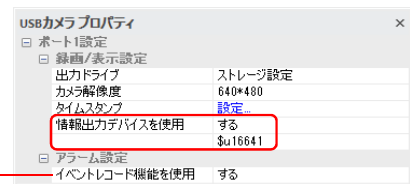
0: イベントレコード機能 開始

1: イベントレコード機能 停止中

5ビット目

0: イベントレコード機能を使用しない

1: イベントレコード機能を使用する



機能

16. 画面データ転送 機能拡張1

対応機種: V9/TS2060

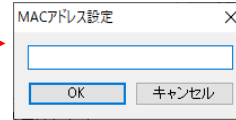
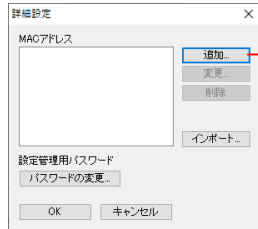
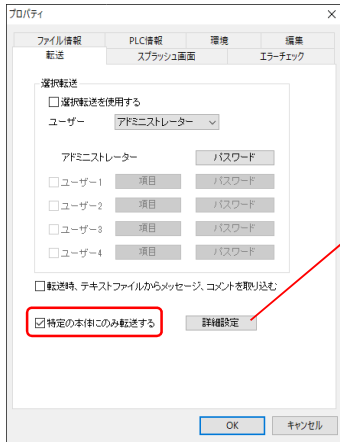
対象転送方法: USB/Ethernet/シリアル転送

【概要】

特定のMACアドレスの本体にのみ、画面データ転送(書込)を許可する機能を追加しました。画面データの誤送信を防止します。

【必要な設定】

1. [ファイル]→[プロパティ]→[転送]タブ→[特定の本体にのみ転送する]にチェックを付ける。
2. [詳細設定]→[追加]をクリックして、転送したい本体のMACアドレスを設定する。



:(コロン)なしの半角英数12文字で入力します。
CSVファイルからのインポートも可能です。

【設定管理用パスワード】
詳細設定ダイアログを開く際に
ロックをかけることができます。
(最大半角英数字16文字)

機能

17. 画面データ転送 機能拡張2

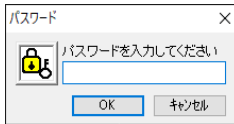
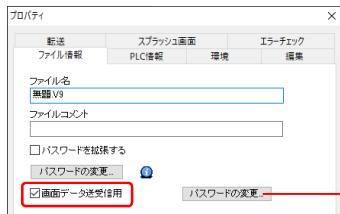
対象転送方法: USB/Ethernet/シリアル転送

【概要】

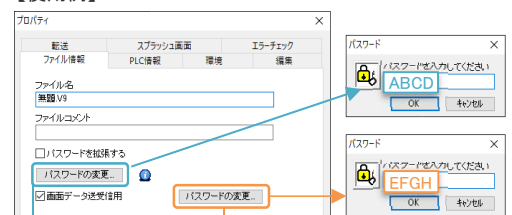
画面データ転送(読込/書込)の実行をパスワードで制御する機能を追加しました。画面データ書込開始前、または本体から画面データ吸い上げてエディタ上に表示する前に、パスワード入力画面が表示されます。

【設定箇所】

1. [ファイル]→[プロパティ]→[ファイル情報]タブ→[画面データ送受信]にチェックを付ける。
2. [パスワードの変更]をクリックして、パスワードを設定する。(最大半角英数16文字)



【使用例】



画面データ送受信パスワード: EFGH
画面データをエディタで開く時のパスワード: ABCD

<画面データ書込時>
パスワード: EFGH

<画面データ読込時>
パスワード: EFGH *画面データ送受信のパスワードを設定していない場合、パスワードは「ABCD」になります。

<画面データをエディタで開く時>
パスワード: ABCD

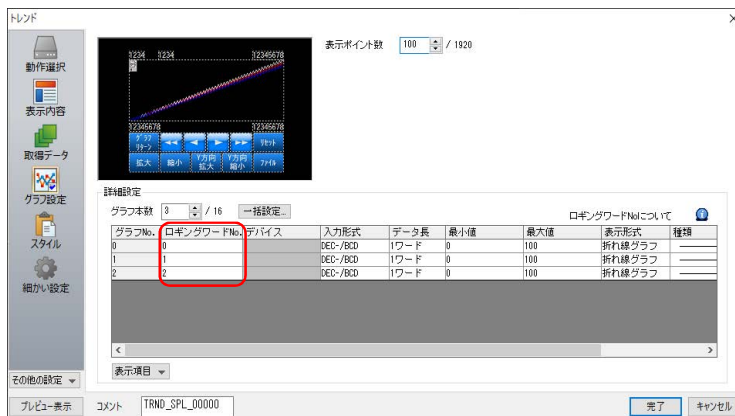
機能

18. トレンドアイテム ログイングワード数拡張

対応機種: V9シリーズ

【概要】

トレンドアイテムのログイングワードNo.を「0~255」から「0~32767」に拡張しました。
(例)トレンド(表示方法: グラフ表示)



エディタ

19. 画面データ編集時 パスワードロック機能追加

【概要】

画面データ編集時、パスワードロック機能に対応しました。

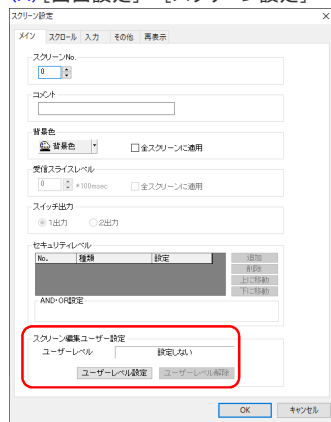
[スーパーユーザー]、[パワーユーザー]、[一般ユーザー] 3段階のユーザーレベルを設定できます。

ユーザーレベルに応じたパスワードを登録しておくことで、画面データの編集をユーザーのログインレベルに合わせて制御できます。

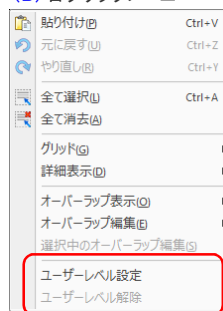
【ユーザーレベル設定 対象箇所】

項目	設定箇所	項目	設定箇所
スクリーン	・[画面設定]→[スクリーン設定]→[メイン]タブ (A)	オーバーラップライブラリ	・オーバーラップライブラリ上での右クリック (B)
	・スクリーン上での右クリック (B)		・画面一覧上での右クリック (B)
	・画面一覧上での右クリック (B)		・プロジェクトビュー (C)
	・プロジェクトビュー (C)		・プロジェクトビュー上での右クリック (D)
スクリーン(オープン/クローズ/サイクルマクロ)	・各マクロ編集のメニューバー (E)	オーバーラップライブラリ(オープン/クローズマクロ)	・各マクロ編集のメニューバー (E)
スイッチ (ON/OFFマクロ)	・各マクロ編集のメニューバー (E)	マクロモード (ON/OFFマクロ)	・各マクロ編集のメニューバー (E)
グローバルファンクションスイッチ (ON/OFFマクロ)	・各マクロ編集のメニューバー (E)	グループ/リンク	・アイテム選択→右クリック (B)
ローカルファンクションスイッチ (ON/OFFマクロ)	・各マクロ編集のメニューバー (E)	アラームブロック (動作設定→発生/解除動作マクロ)	・各マクロ編集のメニューバー (E)
マクロブロック	・マクロブロックのメニューバー (F)	スケジューラ(動作→スケジューラマクロ)	・各マクロ編集のメニューバー (E)
	・プロジェクトビュー上での右クリック (D)		

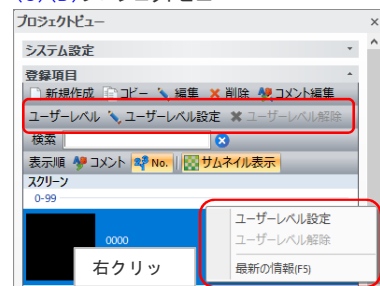
(A) [画面設定]→[スクリーン設定]→[メイン]タブ



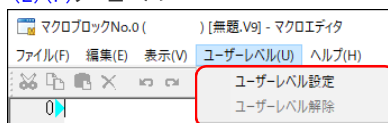
(B) 右クリックメニュー



(C) (D) プロジェクトビュー



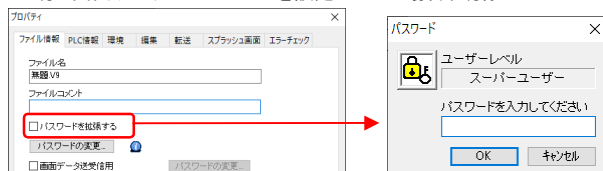
(E) (F) メニューバー



【必要な設定】

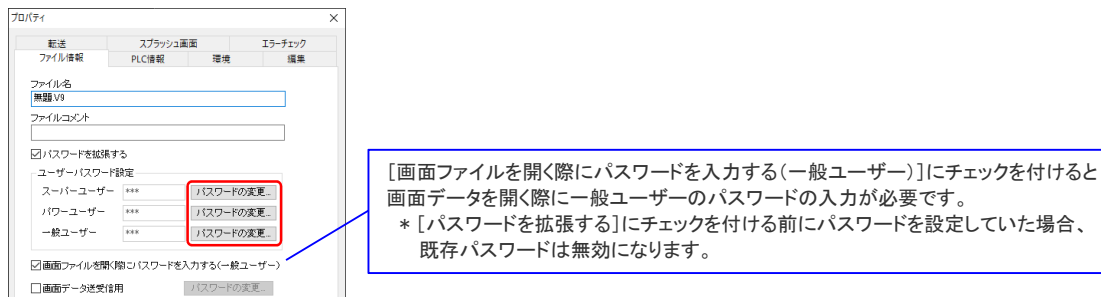
1. [ファイル]→[プロパティ]→[ファイル情報]タブ→[パスワードを拡張する]にチェックを付け、[スーパーユーザー]のパスワードを設定する。(最大半角英数16文字)

* 既に画面データにパスワードを設定していた場合、既存パスワードが[スーパーユーザー]のパスワードになります。



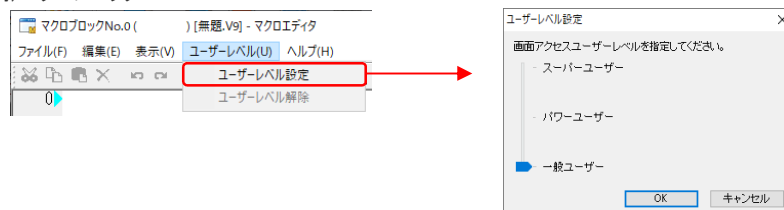
2. [パワーユーザー]、[一般ユーザー]それぞれのパスワードを設定する。(最大半角英数16文字)

* 既に画面データにパスワードを設定していた場合、各ユーザーのパスワード変更時に既存パスワードが必要です。



3. ユーザーレベル設定 対象箇所、ユーザーレベルを設定する。

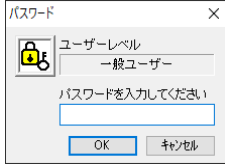
(例) マクロブロック



つづき⇒

【使用例】

1. マクロブロックNo. 0に、ユーザーレベル:一般ユーザーを設定し、画面データを保存する。
2. 画面データを開き直し、マクロブロックNo. 0を編集しようとする、以下のダイアログが表示される。
パスワードが一致した場合は、マクロブロックNo. 0の編集が可能となる。パスワードが不一致の場合は、編集不可。



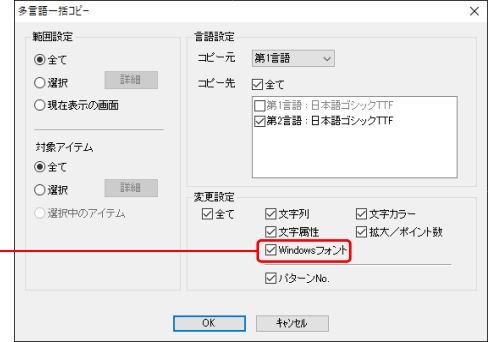
20. 多言語一括コピー 仕様拡張

【概要】

多言語一括コピーで、数値表示や文字列表示のWindowsフォントが一括コピーできるようになりました。

【設定箇所】

[ツール]→[多言語]→[多言語一括コピー]→[Windowsフォント]にチェックを付ける。



<対象アイテム追加>

- ・数値表示
- ・文字列表示
- ・表形式データ表示(数値/文字列)

エディタ

21. パーツ追加

対応機種: V9シリーズ

【概要】

パネルメータにクォーターパーツが増えました。拡大してもキレイに表示できます。

[パネルメータ]

- プレーン →イラスト1
- リアル →メタル1



エディタ

22. シンボル編集 仕様拡張

【設定箇所】

[ホーム]→[登録項目]→[シンボル]

■ [使用状況]列追加

【概要】 [シンボル]編集ウィンドウに[使用状況]列を追加しました。

ID	シンボル	タイプ	配列	要素数	デバイス	コメント	使用状況
0	周波数設定	ワード	<input type="checkbox"/>		D00100	Inverter Port No.1	使用中
1	加速時間	ワード	<input type="checkbox"/>		D00101	Inverter Port No.1	未使用
2	警報1	ビット	<input type="checkbox"/>		M00000	ON:Abnormal OFF:Normal	使用中
3	警報2	ビット	<input type="checkbox"/>		M00001	ON:Abnormal OFF:Normal	未使用
4	警報3	ビット	<input type="checkbox"/>		M00002	ON:Abnormal OFF:Normal	未使用
5	カウンタ(現在値)	ダブルワード	<input type="checkbox"/>		CTH00000	Highspeed counter(current value)	使用中
6	カウンタ値1	整数変数	<input type="checkbox"/>			Within macro	使用中
7	カウンタ値2	整数変数	<input type="checkbox"/>			Within macro	未使用
8	カウンタ値3	整数変数	<input type="checkbox"/>			Within macro	未使用
9	フラグ1	ビット変数	<input type="checkbox"/>			Within macro	未使用
10	フラグ2	ビット変数	<input type="checkbox"/>			Within macro	使用中

■ 使用箇所表示

【概要】 [使用状況]列の「使用中」セルをクリックすると、使用箇所を表示します。使用箇所をダブルクリックすると、使用箇所へジャンプします。

ID	シンボル	タイプ	配列	要素数	デバイス	コメント	使用状況
0	周波数設定	ワード	<input type="checkbox"/>		D00100	Inverter Port No.1	使用中
1	加速時間	ワード	<input type="checkbox"/>		D00101	Inverter Port No.1	未使用
2	警報1	ビット	<input type="checkbox"/>		M00000	ON:Abnormal OFF:Normal	使用中
3	警報2	ビット	<input type="checkbox"/>		M00001	ON:Abnormal OFF:Normal	未使用
4	警報3	ビット	<input type="checkbox"/>		M00002	ON:Abnormal OFF:Normal	未使用
5	カウンタ(現在値)	ダブルワード	<input type="checkbox"/>		CTH00000	Highspeed counter(current value)	使用中
6	カウンタ値1	整数変数	<input type="checkbox"/>			Within macro	使用中
7	カウンタ値2	整数変数	<input type="checkbox"/>			Within macro	未使用
8	カウンタ値3	整数変数	<input type="checkbox"/>			Within macro	未使用
9	フラグ1	ビット変数	<input type="checkbox"/>			Within macro	未使用
10	フラグ2	ビット変数	<input type="checkbox"/>			Within macro	使用中

クリック

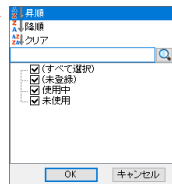
スクリーン[0]ランプランプデバイス
スクリーン[1]ランプランプデバイス

ダブルクリックで
使用箇所へジャンプ

■ フィルタ追加

【概要】 [シンボル]、[タイプ]、[デバイス]、[コメント]、[使用状況]列にフィルタを追加しました。

ID	シンボル	タイプ	配列	要素数	デバイス	コメント	使用状況
0	周波数設定	ワード	<input type="checkbox"/>		D00100	Inverter Port No.1	使用中
1	加速時間	ワード	<input type="checkbox"/>		D00101	Inverter Port No.1	未使用
2	警報1	ビット	<input type="checkbox"/>		M00000	ON:Abnormal OFF:Normal	使用中
3	警報2	ビット	<input type="checkbox"/>		M00001	ON:Abnormal OFF:Normal	未使用
4	警報3	ビット	<input type="checkbox"/>		M00002	ON:Abnormal OFF:Normal	未使用
5	カウンタ(現在値)	ダブルワード	<input type="checkbox"/>		CTH00000	Highspeed counter(current value)	使用中
6	カウンタ値1	整数変数	<input type="checkbox"/>			Within macro	使用中
7	カウンタ値2	整数変数	<input type="checkbox"/>			Within macro	未使用
8	カウンタ値3	整数変数	<input type="checkbox"/>			Within macro	未使用
9	フラグ1	ビット変数	<input type="checkbox"/>			Within macro	未使用
10	フラグ2	ビット変数	<input type="checkbox"/>			Within macro	使用中



エディタ